

令和2年 第2回 景気動向調査報告書



【全体概要】

■現状判断と見通し

村内景況は、全業種の景況判断 BSI(見通し)が、新型コロナウイルス対策に関する国・県・村等の支援策並びに景気刺激策により、前回調査の令和2年6月期調査より、全般的に緩やかな回復基調にある。しかし、全国的かつ急速なまん延による新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、企業も個人も活動・移動の制限が要請されたこともあり経済活動を急激に低下させる状況にあり、本村においても、先行きが見えない大変深刻な状況にある。

今後の見通し(売上)は-16.2「悪化」となっている。『令和2年6月期-47.0』

【商業関連】

『売上減少 22.4%』『諸経費増加 11.7%』『利益率低下 11.2%』『採算悪化 11.1%』『従業員確保難 7.3%』等。

【工業関連】

『売上高の減少・停滞 19.1%』『従業員確保難 18.5%』『技術者不足 16.1%』『人件費増加 8.9%』等。

1. 調査目的(6月と12月の年2回)

同地区内における経済動向等に関する情報の分析を行い、効果的な経営支援の実施並びに事業活動の参考とすることを目的とする。

2. 調査の時期

令和2年12月1日(火)調査時点とする。



3. 調査方法(BSI)

BSIは景気の現状や先行きを「増加」・「減少」といった前期との変化方向で判断する指標である。BSIがプラスであれば、企業の景況や各種項目が前期と比較して好調であるということであり、マイナスであれば、景況や各種項目が前期と比較して不調と考えられる。(BSI)は、前期と比べて「増加」と答えた企業の構成比から「減少」と答えた企業の構成比を引いた値。





















4. 調査対象企業

業種	項目	調査対象企業数
全業種		100
	卸売・小売業	16
	不動産業	5
	飲食業・宿泊業	14
	サービス業	33
	建設業	28
	製造業	4

5. 各調査項目の記号説明

晴れ (特に好調)	晴れ時々曇り (好調)	曇り (まあまあ)	曇り時々雨 (不振)	雨 (極めて不振)
増加・好転(目安) 30.0以上～	増加・好転(目安) 10～30	不変(目安) 10～△5	減少(目安) △5～△30	減少(目安) △30以上～









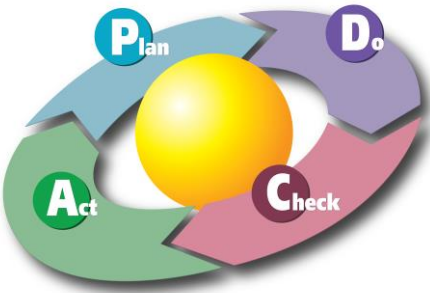








■【商業関連／全体《小売業、卸売業、不動産業、飲食業、宿泊業、サービス業》】

	R2年6月期		R2年12月期		売上 (今後の見通)		
	調査実績		調査実績				
売上高	-72.5		-47.1		卸売業	0.0	
採算 (粗利)	-71.0		-48.5		小売業	0.0	
客数	-72.5		-45.6		不動産業	0.0	
客単価	-44.9		-13.2		飲食店 宿泊業	-57.1	
経費	-7.3		2.9		サービス業	-9.1	
従業員数	0.0		0.0				
売上 (今後見通)	-52.2		-16.2				

➤今後の見通しは-82.4%が『悪化(32.4%)・不変(50.0%)』と回答している。

直面している主な経営上の問題点が、『売上減少 22.4%』『諸経費増加 11.7%』『利益率低下 11.2%』『採算悪化 11.1%』『従業員確保難 7.3%』『人件費増加 6.6%』『後継者問題 5.8%』等《複数回答》としている。

■【工業関連／全体《建設業、製造業》】

	R2年6月期		R2年12月期		売上 (今後の見通)		
	調査実績		調査実績				
売上高	-29.0		-21.9		建設業	-7.1	
採算 (粗利)	-35.5		-34.4		製造業	-25.0	
引き合い	-19.4		-12.5				
資金繰り	-16.1		-3.1				
従業員数	-6.5		3.1				
設備投資	0.0		6.3				
売上 (今後見通)	-48.0		-9.4				

➤今後の見通しは 78.2%が『悪化(31.3%)・不変(46.9%)』と回答している。

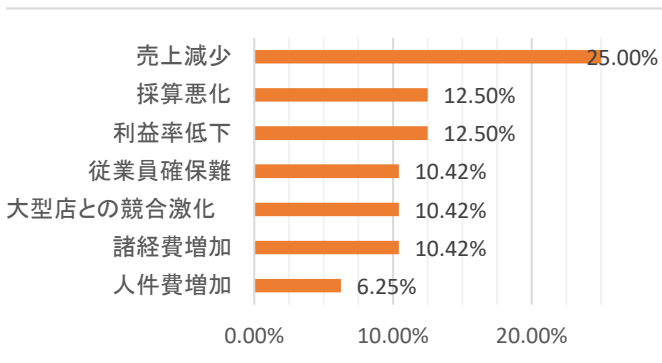
直面している主な経営上の問題点が、『売上高の減少・停滞 19.1%』『従業員確保難 18.5%』『技術者不足 16.1%』『人件費増加 8.9%』『諸経費増加 8.3%』等《複数回答》としている。

1. 主要項目等から見た業種別景気動向

【卸売・小売業】

	R2年6月期		R2年12月期	
	調査実績	調査実績	調査実績	調査実績
売上高	-73.7		-37.5	
採算(粗利)	-79.0		-43.8	
客数	-79.0		-31.3	
客単価	-63.2		-37.5	
経費	5.3		-6.3	
従業員数	0.0		18.8	
売上(今後見通)	-63.2		0.0	

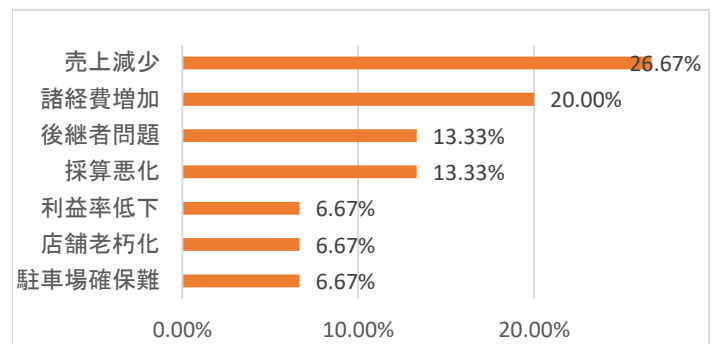
★今期直面している主な経営上の問題点



【不動産業】

	R2年6月期		R2年12月期	
	調査実績	調査実績	調査実績	調査実績
売上高	-60.0		0.0	
採算(粗利)	-40.0		-40.0	
客数	-40.0		-40.0	
客単価	0.0		-20.0	
経費	-20.0		-20.0	
従業員数	-20.0		-20.0	
売上(今後見通)	-60.0		0.0	

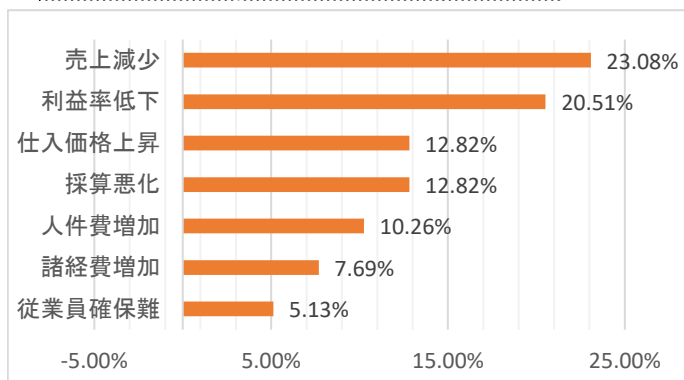
★今期直面している主な経営上の問題点



【飲食店・宿泊業】

	R2年6月期		R2年12月期	
	調査実績	調査実績	調査実績	調査実績
売上高	-100.0		-85.7	
採算(粗利)	-94.2		-92.9	
客数	-100.0		-85.7	
客単価	-64.7		-28.6	
経費	0.0		7.1	
従業員数	0.0		-28.6	
売上(今後見通)	-58.8		-57.1	

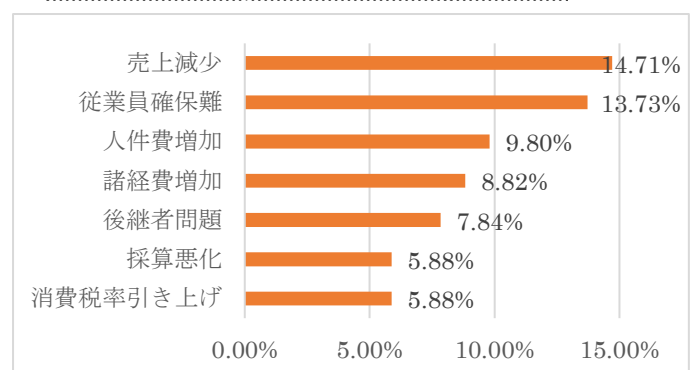
★今期直面している主な経営上の問題点



【サービス業】

	R2年6月期		R2年12月期	
	調査実績	調査実績	調査実績	調査実績
売上高	-58.6		-36.4	
採算(粗利)	-58.6		-33.3	
客数	-58.6		-36.4	
客単価	-31.0		6.1	
経費	17.9		-3.0	
従業員数	3.5		6.1	
売上(今後見通)	-37.9		-9.1	

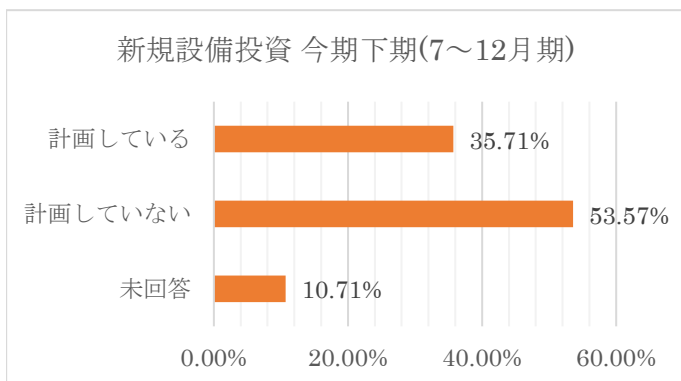
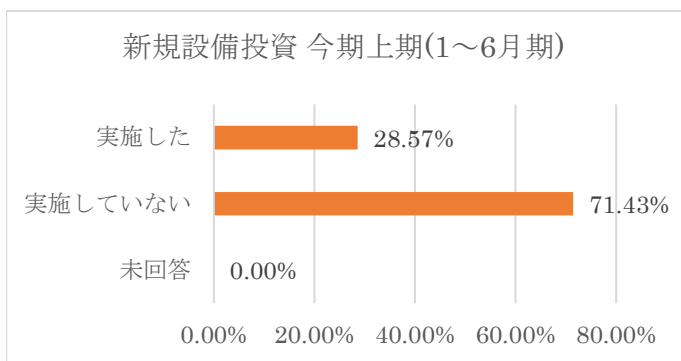
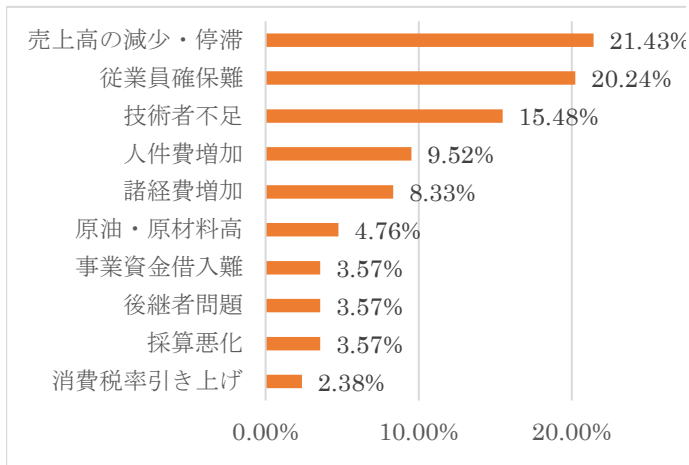
★今期直面している主な経営上の問題点



【建設業】

	R2年6月期		R2年12月期	
	調査実績		調査実績	
売上高	-19.2		-21.4	
採算(粗利)	-30.8		-32.1	
引き合い	-11.5		-10.7	
資金繰り	-11.5		0.0	
従業員数	-7.7		10.7	
設備投資	0.0		7.1	
売上(今後見通)	-42.3		-7.1	

★今期直面している主な経営上の問題点



【製造業】

	R2年6月期		R2年12月期	
	調査実績		調査実績	
売上高	-80.0		-25.0	
採算(粗利)	-60.0		-50.0	
引き合い	-60.0		-25.0	
資金繰り	-40.0		-25.0	
従業員数	0.0		-50.0	
設備投資	0.0		0.0	
売上(今後見通)	-20.0		-25.0	

★今期直面している主な経営上の問題点

